

第30回愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会・ 第10回愛知県柔道整復師会少年柔道形競技会 青山記念武道館 (8/1) にて無観客開催

謹告 久野信彦会員 (笠寺) より、メガネのくもり止め
2万枚を会員のために、ご寄付いただきました。
ありがとうございました。

第56回愛知県柔道整復学会 第94回会員研修会

7月4日(日)午前10時から正午まで、本会講堂にて第56回愛知県柔道整復学会・第94回会員研修会が開催され、会員174名(会場49名・Zoom125名)が参加した。

藤川和秀副会長の開会の辞に続き、森川伸治会長は挨拶にて、豪雨災害でなくなられた方々に弔意を示した後、愛知県柔道整復師会においてコロナワクチン接種を6月21日(月)から明日まで名古屋空港、6日(火)から岡崎の愛知医科大学メディカルセンターで早期接種が行われていることを紹介、全国47都道府県の柔道整復師の療養費が平成23年をピークに丸10年下がり続けていることに言及し、柔道整復師の現状を憂え「これを切り抜けるためにも、本日の愛整学会そして会員研修会をしっかりと勉強していただいて明日からの施術に役に立て、患者さんのためにご聴講いただきたいと思います」と締めた。

愛知県柔道整復学会

1. 橈骨遠位端屈曲骨折の受傷機序の検討 青山由裕会員(岡崎)



Smithは、橈骨遠位端屈曲骨折型骨折(Smith骨折)について「非常にまれな傷害であり、手の甲から転倒した結果として発生する」と報告した。橈骨遠位端伸展型骨折(Colles骨折)は、「手掌について受傷」、Smith骨折は、「手背について受傷」と一般的に言われてきた。しかし、後者については前者と同様の受傷機序もあることは周知の事実である。

サッカー中に前方へ転倒して受傷した左Smith骨折の症例を経験した。受傷時の動画が2方向あり、その動画を元に受傷機序について検討及び考察したので報告する。

Colles骨折と同じ「手掌について受傷」でSmith骨折を受傷することも十分あり得るので、安易に受傷機序のみで判断するのは危険である。

2. 皮膚に対する軽擦法が筋力と可動域に与える影響



則竹洋昭会員(一宮) 近年、静的ストレッチを行うと短期的に筋力低下を起し、スポーツ前に行う準備運動としては向いていないという考えが出てきている。また皮膚への軽擦法を行うことが可動域改善に効果があるという発表を目にした。そこで一宮支部の学術部員の協力を得て、皮膚へ軽擦法を器具(ドルフィン)を用いて行い、筋力や可動域にどのような影響を与えるのか、握力およびSLRを検証した。握力において、静的ストレッチでは握力低下がみられたが、軽擦法では握力低下は見られなかった。SLRにおいて、軽擦法で柔軟性の向上が認められた。

器具(ドルフィン)を用いて行い、筋力や可動域にどのような影響を与えるのか、握力およびSLRを検証した。握力において、静的ストレッチでは握力低下がみられたが、軽擦法では握力低下は見られなかった。SLRにおいて、軽擦法で柔軟性の向上が認められた。

3. 手関節固定装具に用いる固定材料と作製方法の紹介



山岸裕幸会員(熱田) 手関節固定装具の固定材料には、既存のプラスチックシーネ、既存スプリント材などがあり、その素材も多様である。そこで、当院及び熱田支部学術部で用いている固定装具の固定材料と作製方法を紹介する。

固定装具を固定材料【FOREX(3mm厚・低発砲塩化ビニール樹脂板)、面ファスナー、伸縮ベルト、リング(鉄リングCチェーン)】を自作の採型具を用いて作成。

4. 日整会員の現状に対するアンケート調査



大口明良会員(大曾根) 柔道整復師を取り巻く環境は年々厳しくなり、不安を抱えながら日々の施術にあたっている柔道整復師が多いのが現状である。多数の有資格者・接骨院の乱立など業界を取り巻く環境の変化等が起きている。そこで日整会員に現状に対しての意識を明らかにするためアンケートを行った。

午前11時、小林弘治副会長の閉会の辞で終了した。

会員研修会

11時10分から第94回会員研修会が、「体幹部損傷に対する固定～固定法・固定具の紹介～」と題し開催された。



山北陽一会員(中村)が、腰部キャスト固定を紹介した。

材料: 梱包用ラップ、オルテックス、キャストライト(4号×2巻・3号×1巻)、テーピング、カシメ(頭径13mm×足長13mm)×4、角カン(幅50mm)、クッションシート(厚さ3mm)、ストックネット4号。

キャストライトは上前腸骨棘から剣状突起の下2横指くらいまで1/2~1/3重ねながら巻き上げる。はじめは4号を用い、下縁部上縁部は3周巻き足りなければ3号で巻、最後は補強する形で上から下へ巻いていく。



平山貴博会員(笠寺)が、厚紙副子と晒を使用した体幹固定を紹介した。

材料: 晒、厚紙(縦40cm×横30cm、厚さ2mm)、綿花、伸縮包帯。

晒は2重にして使うので体幹の3周分の長さで切る。両端を3等分になるよう裂き(ハサミで切れ込みを入れると簡単に裂ける)結べるようにする。

厚紙を半分に切り、腸骨稜に合わせて下部を半円状にカットし、四隅を丸くする。縦に2cm間隔で筋を切り、綿花をあて伸縮包帯で巻く。

厚紙を患部に合わせ左右または前後にあてて、晒で巻き裂いた部分で縛る。中央から縛り、外れにくくするため結び目は2重にする。

2mm厚の厚紙は、ホームセンターでは売られておらず、Amazonにて10枚1,678円で購入した。一人当たりの材料費は300円~400円程度で固定できる。(広報部)



堤 康次会員

小倉 康弘会員



氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
堤 康次	S32.10.6	熱田	赤門柔整	5段	ドライブ
小倉 康弘	S55.6.23	一宮	中和医療	—	映画鑑賞